

事業名	【継続】 特定健康診査等事業				
	財 源 内 訳 (単位：千円)				
当初予算額	国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
80,050		43,558		1	36,491
事業期間	平成20年度～			総事業費	

【事業目的】

40歳から74歳までの国民健康保険加入者を対象に、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）に着目した健康診査、保健指導を実施することで、生活習慣病を早期に発見し生活習慣の改善につなげます。併せて、令和4年度までに胃がんリスク検査未受診者を対象に、胃がんリスク検査を実施します。

また、20～39歳までの国民健康保険加入者を対象とした若年者健康診査を実施し、早い段階から生活習慣病予防に取り組むことで、特定健康診査の受診率向上につなげ、医療費の適正化を図ります。

【事業概要】

①特定健康診査・若年者健康診査対象者への受診案内

②特定健康診査（対象者：40歳から74歳）

若年者健康診査（対象者：20歳から39歳）

【健診料】無料

【基本的な健診項目】

- ・問診、血圧の測定 ・身長、体重、腹囲測定
- ・血液検査（肝機能検査、血中脂質検査、血糖検査） ・尿検査 等

【島原市独自の追加健診項目】

- ・貧血検査 ・心電図 ・血清クレアチニン検査

【詳細な健診項目】（医師の判断で実施）

- ・眼底検査

【追加項目】胃がんリスク検査

- ・対象者：20歳～74歳の人で令和4年度までに未受診の人
- ・内 容：ピロリ菌抗体検査、ペプシノゲン検査



③健診結果の通知

④特定保健指導



(特定健診受診率・特定保健指導実施率)

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
特定健診	特定健診受診率	47.1%	47.6%	46.8%	46.4%	40.9%	43.1%
	県内平均受診率(21市町)	38.5%	39.4%	39.5%	39.2%	32.5%	36.2%
	県内順位(21市町)	7位	8位	11位	10位	9位	8位
保健指導	特定保健指導実施率	78.9%	73.1%	85.2%	84.4%	86.7%	73.9%
	県内平均実施率(21市町)	53.1%	53.7%	58.8%	58.9%	55.2%	51.7%
	県内順位(21市町)	2位	6位	2位	4位	3位	7位

科目	5 款	2 項	1 目	目 名 称	特定健康診査等事業費	保険健康課（保健センター）
事業計画	前 年 度 まで			今 年 度		来 年 度 以 降
	上記事業概要と同じ			上記事業概要と同じ		引き続き実施予定

事業名	【継続】 安中配水池耐震化事業				
	財 源 内 訳 (単位：千円)				
当初予算額	国費	県費	地方債	その他	一般財源
466,153		1,340	246,000		218,813
事業期間	平成30年度～令和5年度 (複数年度事業)			総事業費	2,745,000

【事業目的】

安中水系の安中配水池も建設後42年を経過しており、経年劣化と平成3年に発生した雲仙普賢岳噴火災害の土石流の影響もあって、本体部に多数のクラックが発生し、備えるべき耐震性能が確保できていない状況にあるため、改築・更新を行い、併せて令和3年度で完成した新上の原浄水場からの水道水を安中地区に送水することで、課題であった水質の改善を図ろうとするものであります。

【事業概要】

既設の配水池を運用しながら補修・耐震補強工事が難しいことから、新たな配水池を築造する計画をし、また、水需給バランスを確保するため各配水池の配水量を見直したことから、関連するポンプ設備更新、水源開発、管路の新設などを計画しています。

事業内容	新規水源整備	1本 (上の原第3水源)
	浄水場配水池整備	2箇所 (上の原浄水場、安中配水池)
	取水ポンプ整備	2箇所 (上の原第1水源、上の原第2水源)
	減圧水槽整備	1箇所 (安中減圧水槽)
	導送配水管布設等	L≒7,251m



新上の原浄水場(R5.2月撮影)
(令和3年度完成)



安中配水池 (昭和52年建設)

科目	1款	1項	1目	目名称	拡張費	水道課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	配水池新設	1箇所		配水池新設	1箇所	—
	減圧水槽新設	1箇所		減圧水槽新設	1箇所	
	送配水管布設	L≒5,882m		送配水管布設	L=1,369m	

7. 安全で安心して暮らせる快適なまちづくり

事業名	【拡充】 中木場簡易水道統合事業				
	財 源 内 訳 (単位：千円)				
当初予算額	国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
136,873			100,000		36,873
事業期間	令和4年度～令和5年度 (複数年事業)			総事業費	237,248

【事業目的】

中木場簡易水道事業は、昭和43年に創設認可を取得し、昭和44年6月から給水を開始しております。普賢岳噴火災害により一時水道施設としての機能を喪失したものの復興が進み平成5年4月に計画給水人口2,500人、計画一日最大給水量1,000m³/日の認可を取得し、水道機能を回復し現在に至ります。

今回、新たに水源と浄水場配水池等を整備し、上水道と簡易水道を統合しようとするものです。

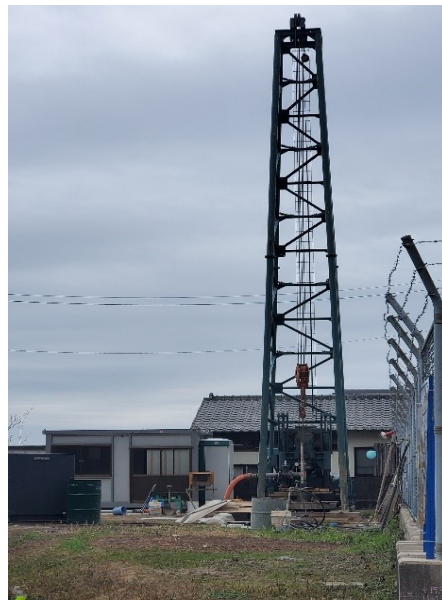
【事業概要】

中木場低区配水池敷地内に安中配水池を移設し新設することで給水区域を統合し、配水管をつなぐことで効率的な配水を行います。

事業内容	新規水源整備	1本 (中木場第3水源)
	電気設備更新	1箇所 (中木場低区配水池)



現 中木場低区配水池 (大下町)



中木場第3水源さく井状況

科目	1 款	1 項	1 目	目 名 称	拡張費	水道課
事業計画	前 年 度 ま で			今 年 度		来 年 度 以 降
	水源新設	1本		水源新設	1本	—
	電気設備更新	1箇所		電気設備更新	1箇所	